

文字探究新聞

2024年 8月
松山 愛佳

私たち小学生は、毎日多くの時間、文字を書いていきます。生活に身近で当たり前に使っているもので、「文字がいつどうやってできたのかを知りたい」、「文字が上手になりたい」と思い、「文字」について、詳しく調べることになりました。

漢字は絵がもとになっていきます。その漢字が形を変えて、ひらがなやカタカナができました。

中国で、三五四年前頃に甲骨文字が生まれ、変化していき、二〇〇〇年前頃にできた楷書が私たちが使っている漢字です。

おもしろい！文字の変化

中国の漢字の歴史



漢字の形をくずして、漢字の一部をとって、カタカナができました。

漢字の形をくずして、漢字の一部をとって、カタカナができました。

教える！書道の先生

日本での筆記具は、明治の終わり頃までは毛筆でした。学校制度が作られ、鉛筆に移り変わりました。

以上長い間、毛筆が使われていたのです。そこで、私は筆や書道について知りたかった。先生に話を聞きに行きました。

書道とは何ですか？文字に個性を表すことです。きれいに書くことや、かざり文字とは違い、文字の中に美しさを求め、自分を表現すること、芸術としての書です。筆を何本持っていますか？筆を何本持っていますか？

羊、ヤギ、馬、狸、鶏、リス、ムササビなどです。羊はやわらかい線も強い線も書け、幅が出せます。どうしたら習字で筆を上手に使えますか？筆の弾力を活かすことです。太い線を出して速く書くと、元気のいい字、力強い字が書けます。

習字はお本を見て書くけど、書道は自分らしい表現だね！

えんぴつと比べるとこんなに大きな筆も！紙のサイズもいろいろで、大きい字も小さい字も書くぞうです。

松山先生の作品、展覧会に出す作品は半年かけて書くぞうです。

太い、細い、やわらかい、ざらざら、いろいろな筆がそろっていました。

クイズのこたえ

(1) 牛 (2) 羊 (3) 犬 (4) 月 (5) 星

カタカナのどき方
阿伊宇江
アイウエオ

ひらがなのどき方
万葉仮名
以呂波仁保部止
草書体
ひらがな
いろはにほへと

30日で文字が上手になるか？

自分の書いた文字を見て、読みづらいと思うことがありません。お手本を見ながら丁寧に書くとき、きれいに書けても、ふだん書くときにはくせが直りません。そこで、30日間毎日練習して、文字が上手になるか、挑戦しました。

アンビグラム文字

こんなふしぎな文字もあるよ!!

文字が上手になった!!

30日練習!!

国語のノート
4国道のわき
5海岸通り
のバスでい

練習後に書いた文字

感想

私は新しい漢字を覚えることが好きです。漢字の成り立ちやバランスを気にすると、これから楽しくなるかなと思います。また、書道の先生方に取材をして、個性や生き方を表す書道の難しさを感じました。文字は古くから続いている日本の文化の一つなので、大事にしていきたいと思いました。

きれいな文字のひみつ

私がきれいな文字を書けるようになったひみつの練習を教えます。

ひみつ 1. トンと書き始め、スーと動かし、止め、はらい、はね、曲がり、折れ、反りを意識する。

ひみつ 2. 外形を考える。

ひみつ 3. 上下、左右の幅や大きさに注意する。

花見 海外

年組書